

平成25年4月22日(月曜日)

フジイ除雪機

経産大臣賞を受賞

燕市デザインコンクール

○・フジイコーポレーション
ショヨン||藤井大介社長、
新潟県燕市小池2855||
の中型除雪機S.i912DKと乗用草刈機ME1

○・22Xが、燕商工会議所(新潟県燕市)などが主催する「平成24年度ジャパンツバメイン

ダストリアルデザインコンクール」でそれぞれ除雪機が経済産業大臣賞、乗用草刈機が協会会长賞を受賞した。

○・このコンクールは30年以上にわたって毎年開催されている権威のあるコンクール。昨年までは金属洋食器・金属ハウ

スウェアのみを対象としていたが、今回から金属食器以外の製品も審査対象としたため、

DKと協会会长賞を受賞した乗用草刈機ME10

22Xは、いずれも真っ赤なボディが特徴的な親しみやすいデザインを探用。このうち除雪機は全

体的に丸味を帯びたデザインとなつており雪の降る中で作業を続けても雪

が付着しにくい設計になつている。

全国から応募があった。関係者の強力な推薦もつてフジイコーポレーションも応募したもの。

○・また、両機種とも応募の中から、最高賞の

応募の中から、最高賞の経済産業大臣賞を受賞した中型除雪機S.i912DKと協会会长賞を受賞した乗用草刈機ME10

22Xは、いずれも真っ赤なボディが特徴的な親しみやすいデザインを探用。このうち除雪機は全

乗用草刈機と高所作業機

する際に、果樹を痛めな

いための工夫の一つでも

ある。

○・また、両機種とも

に金属製のボディを使用

してあるため、耐久性が

非常に高いばかりか、さ

らには随所に金属性ならではの高級感もかもし出

している。

○・なお、同社では現

在、果樹地帯を中心に、



経産大臣賞を受賞した除雪機 S.i912DK



協会会长賞を受賞した乗用草刈機ME1022X



藤井社長

一方、乗用草刈機の丸いボディは、果樹園などで使用